

平成 26 年 9 月定例会

# 教育委員会定例会会議録

書記 伊 東 英 二

書記 青 沼 文 高

## 塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日 時 平成 26 年 10 月 3 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分

◆場 所 壺番館庁舎 3 階 共用会議室

### ◆出席委員

委 員 長	柴田 仁市郎	委員長職務代行者	太田 忍
委 員	池野 暢子	委 員	山田 達磨
教 育 長	高橋 睦麿		

### ◆事務局

教 育 部 長	菅原 靖彦	教育総務課長	会澤 ゆりみ
生涯学習課長	渡辺 常幸	学校教育課長	高橋 義孝
市民交流センター館長	本田 幹枝	教育総務課長補佐兼総務係長	伊東 英二
教育総務課主事	青沼 史高		

### ◆定例会次第

- 1 開会
- 2 前回会議録承認
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 議案
  - ① 議案第 2 0 号 平成 2 6 年度教育功績者表彰について
  - ② 議案第 2 1 号 塩竈市生涯学習センターの組織及び管理に関する規則の一部を改正する規則
  - ③ 議案第 2 2 号 塩竈市生涯学習センター審議会規則の一部を改正する規則
- 5 教育長報告
  - ① 第 3 回管内教育長会議について
- 6 教育部長報告
  - ② 塩竈市震災復興計画の関連事業等について
  - ③ 市議会定例会等について
- 7 その他報告
  - ① 児童生徒状況一覧（平成 26 年 8 月分）
  - ② 特別名勝松島の現状変更許可申請について
- 8 閉会

1 開会 午後 1 時 30 分

2 前回会議録委員の署名  
山田委員から報告、承認

3 会議録署名委員の指名  
太田委員と高橋教育長を指名

#### 4 議案

(1) 会澤教育総務課長から、以下のことについて報告

##### 【秘密会】

①議案第 20 号 平成 26 年度教育功績者表彰について (秘密会)

(委員全員異議なし) 原案のとおり可決

[主な質疑]

なし

(2) 渡辺生涯学習課長から、以下のことについて報告

①議案第 21 号 塩竈市生涯学習センターの組織及び管理に関する規則の一部を改正する規則

②議案第 22 号 塩竈市生涯学習センター審議会規則の一部を改正する規則

(委員全員異議なし) 原案のとおり可決

[主な質疑]

なし

#### 5 教育長報告

(1) 高橋教育長から、以下のことについて報告

①第 3 回管内教育長会議について

[主な質疑]

・池野委員

ポストが 5 つ減るとのことですが、教頭先生が校長先生に昇任するとポストが増えるのではないのでしょうか。

- ・高橋教育長

定年退職は、前年と比較して教頭のポストが 5 減少、校長については、前年と比較してポストが 4 増加ということです。

## 6 教育部長報告

- (1) 菅原教育部長から、以下のことについて報告

- ①塩竈市震災復興計画の関連事業等について
- ②市議会定例会等について

〔主な質疑〕

なし

## 7 その他報告

- (1) 高橋学校教育課長から、以下のことについて報告

- ①児童生徒状況一覧（平成 26 年 8 月分）

〔主な質疑〕

- ・太田委員長職務代行者

児童生徒状況一覧の該当生徒は男子生徒か。

- ・高橋学校教育課長

器物破損・喫煙については、男子生徒であり、万引きについては、男女別の報告がなかった。

- ・柴田委員長

保護者の方をお呼びして、話をし、対応していると思うが、一番大事なことは、保護者の姿勢だと思う。起きてしまったことは反省して、次の教育につなげていくということが必要だと思うので、学校で保護者から事後の報告を受けることを継続しているのか。

- ・高橋学校教育課長

学校としては、継続して保護者と連絡を取り合っている。しかし、中学二年生という年齢もあり、保護者と学校が連携していても、保護者に反抗し手におえなくて悩んでいるようである。第三者が関わらなければならない事案が増えてきており、スクールソーシャルワーカー、青少年相談センターのカウンセラー、所長のセンター相談を含め第三者の協力をいただくことがますます必要となってきた。保護者も問題行動を起こした時の対処の仕方と、今後のしつけの仕方については、悩んでいるようだが、そこは、学校と相談しながら進めていくしかないと考えている。

- ・柴田委員長

不登校の生徒数の変化がないことを心配している。対応しているスクールソーシャルワーカーの成果が見られないのではないかと。そうだとしたら、中学校では宮城県が不登校率ワーストワンということで、いままでの対応の見直しや検討をする必要があるのではないかと考える。

・高橋学校教育課長

昨年度の今の時期に宮城県がワーストワンということだった。塩竈市でも不登校の出現率が多かった。

昨年度から新しい施策として、スクールソーシャルワーカーと指導主事が個別に学校を訪問し、抱え込んでいる状況があるのではないかと聞き取り調査をしている。また、昨年度不登校だった生徒、今年5月に不登校と報告のあった生徒の追跡調査、個別の聞き取り調査も10月から行っている。学校にすべてを任せるのではなく、学校が抱え込まないように教育委員会でも工夫していく必要性から新たな取り組みを始めたところである。

・柴田教育委員長

個人個人がさまざまな事情を抱えており一律ではなく手のかかる作業ではあるが塩竈市の数字だけをよくするというのではなくて、不登校の子どもたちを解消していくということを考えていかなければならない。

・高橋教育長

不登校は、非常に深刻な問題で、塩竈では昨年より若干減っているが、宮城県は中学校で本年度もワーストワンということだった。そのなかでも、学校で様々な取組で成果があがっているものもある。中学校卒業の生徒の約9割の子どもが進学していることは、成果だと考える。小学校で発現した不登校は、中学校でも繰り返し起こってくる。このことについては問題であり、新たな取組、家庭との連携が必要となってくる。万引きの例を挙げると非常に深刻な問題として捉える家庭とお金を払えば解決することと捉える家庭があり、家庭における対応の違いが不登校についてもあてはまる。不登校を深刻に捉える家庭とそうではない家庭があり、家庭によっては個々の対応をし、学校へ来てもらう努力を続けながら、家庭にダイレクトに入れるようなものが必要かと感じている。

・山田委員

問題が起きたときに、先生が抱え込みすぎてしまい、先生方が学年なり校内で情報を共有して、的確に良いアドバイスをしたりというようなことが昔より少ないのではないかと考える。学校としてもオープンにしたくないという意識がはたらきすぎている。オープンにしてみんなで解決に向かっていくという方法もあるのではないかと考える。

- ・高橋学校教育課長

中学校は、教科制なので多面的に子供の様子を見られるが、小学校は学級担任制なので見えにくいところがある。見えにくいところを見やすくする体制作りが大事かと考え、組織的な対応、指導体制づくりについては進めてきている。校長会・教頭会・生徒指導主事の会議でその都度陥りやすい課題について、事例を提示しながらお願いしている。

- ・山田委員

8月に中学生が高校生の力を借りながらSNSの使い方について取組を行うとのことだったが、どのような取組を行ったか、どのような意見があがってきたかについて教えてほしい。

- ・高橋学校教育課長

中学生は、アンケート調査の話し合いをし、アンケートの質問項目についてとりまとめ学校に提出している。また、SNSの使い方について陥りやすい問題についても、中学生の方が大人より詳しいので、その意見をもとにアンケート調査項目の作成をした。

小学生については、インターネット、携帯電話を用いることによって起こる問題点についてコーディネーターの先生を中心に問題意識を持ち、活発な良い話し合いが行われました。

2回目のアルカス塩竈の会議を、今回の話し合いを受け、また、つくられたアンケート調査の結果をもとに12月頃に開催する予定です。

《會議録署名委員》

2 番委員

(太田委員)

5 番委員

(高橋教育長)